

ちくご

広報

CHIKUGO



おもな内容

- モルジブの子どもたちが残していったもの(P.2~7)
- 市職員採用試験(P.8)
- 大丈夫ですかあなたの年金(P.9)
- 全国伝統地名市町村サッカー大会で筑後市が準優勝(P.10)

地獄の亡者を引上げる

久富盆綱引き

八月十四日、久富熊野神社で盆綱引きがありました。

この盆綱引きは、地獄に落ちた亡者たちを、せめてお盆の間だけでも綱で引き上げて極楽で過ごさせようという伝統行事です。

この日は、松原小学校の男子児童約四十人が久富熊野神社に集合し、全身に水で溶いたススを塗り、腰にはフラミン、頭には荒縄で作った角を着けて、かわいい黒鬼に変身しました。

そして、午前十時の出発の花火を合図に、「ワッショイ、ワッショイ」のかけ声とともに、直径三十センチ、長さ約二十メートルのワラとコモで編んだ大綱を引きながら町内を練り歩き、沿道の見物人から大きな拍手を浴びていました。

9

NO. 462
平成4年
(1992年)
月号

この広報は、再生紙を使用しています。

市の木：クスノキ

市の花：サザンカ

モルジブのこどもたちが



◀ ホストファミリーの古賀重満さん方でぶどう狩りがあり、こどもたちは大喜びでした。

残していったくれたもの

“地上最後の楽園” モルジブ

首都 マレ
面積 298平方キロメートル（筑後市の約5倍）
人口 約20万6千人（1989年）
言語 ディヴェヒ語（学校の授業は英語で行われる）
宗教 イスラム教（豚肉を食べることは禁じられている）



モルジブ共和国は、1200以上の島で構成されています。

そのうち約200の島に人が住んでいますが、大きいものでも周囲は5～6キロメートルで、10分も歩けば端から端までたどり着きます。

モルジブは、インド洋に浮かぶサンゴ礁の島国です。青く透き通った海の中を、白い砂浜に囲まれた緑の小島がどこまでも続く光景は、“地上最後の楽園”と形容されるほどです。

国の経済を支えているのは観光と漁業です。

人口約20万人のこの国に、毎年世界各地から13万人もの観光客が訪れます。みな、美しい海を楽しむことが目的で、ダイビング、ボードセーリング、釣りなどのマリンスポーツを思い思いに満喫しています。

一方、漁業はカツオ、マグロ漁が盛んです。人々は魚を主食にしていますが、耕作地に恵まれないため、野菜は輸入しています。

アジア太平洋こども会議・イン福岡が、八月四日から十三日にかけて福岡市を中心に開かれました。
 筑後市には、モルジブ共和国の男の子四人、女の子六人（全員が十一歳）とシャベロン（随行者）二人の、合計十二人が、一家庭に一人ずつホームステイしました。
 インド洋に浮かぶ小さな島国モルジブからやって来た、こども大使たちとの交流のようを、こどもたちにかかった人たちのお話を交えながら紹介します。
 はたして、モルジブのこどもたちは、筑後市に何を残して行ってくれたのでしょうか。

八月四日ウェルカムパーティー ホームステイの始まり

どんな思い出ができるかな

モルジブのこどもたちは、七月三十日に福岡市に到着、海の中道青少年海の家に宿泊して、日本の生活や文化を学んだほか、県内のいろいろな施設を見学しました。

八月四日、海の中道で対面式が行われ、モルジブのこどもたちとホストファミリーが初めて対面しました。まだ、両方とも少し緊張していたようです。

このあと、こどもたちとホストファミリーは、いっしょにバスに乗って筑後市へ移動し、市長を表敬訪問しました。

この日の夜には、ウェルカムパーティーが開かれました。モルジブ

ブのこどもたちとシャペロンが、一人ずつ自己紹介し、「親切な日本人たちと、良い思い出を作りたいです。よろしくお願いします」とあいさつしました。

これにこたえて馬場市長が、「ようこそこども大使のみなさん。ホストファミリーのみなさんは、やさしい人ばかりですので安心してください。筑後市ですばらしい思い出を作ってください」と歓迎のあいさつをして、筑後市の特製ベリダントをプレゼントしました。パーティーでは、出席者全員の紹介のあと、モルジブのこどもたちは、それぞれホストファミリー

のテーブルに入って、食事をしながら懇談しました。

このあと、モルジブのこどもたちが、お祝いやお祭りのときに踊る民族舞踊「ランギリ」を披露しました。そして最後には出席者全員で輪になって、日本民謡協会筑後支部のみなさんの三味線の伴奏で「炭鉱節」を踊りました。

パーティーは盛況のうちに終わりました。こどもたちはそれぞれホストファミリーに引き取られ、いよいよホームステイが始まりました。



ことばのかわりに、笑顔で接しました

ホストファミリー 藤吉正憲さんご家族(羽犬塚)

藤吉さん宅にホームステイしたのは、独立心の強いアルシャド・ジャミール君(男)でした。

アルシャド君は、食べ物でも何でも、好ききらいをはっきり言う子でした。また、「何でも見てみよう、やってみよう」という気持ちがあり、一から百までの数字の日本語読みを数時間でおぼえたり、習字をマスターしたりして、藤吉さん一家を驚かせました。

また、モルジブの文化をいっしょにけんめいに伝えようとしていましたが、ことばがうまく通じな

いもどかしさがあったようです。

正憲さんは、「長男が去年、オーストラリアに一カ月ホームステイでお世話になりましたので、そのお返しにと思って応募しました。日常生活は、単語と身振り手振りで何とかできました。私が勤めている学校の農場に連れて行つて牛やニワトリの世話をさせましたが、まじめに働いてくれました。何か、大使としての責任」を感じていたのではないのでしょうか」と話してくれました。

こどもたちともピンポンや魚つりなどで遊んで、打ち解けていました。三男の正道君は「友だちになれてよかった。ばくもモルジブに行きたいです」と言っています。妻の一代さんは「優しいことばをかけたけれど、うまくしゃべれないので、そのかわりにいつも笑顔で接していた」そうです。

母の逸子さんの、「アルシャドが帰る時は、遠い所から来た孫が帰るようで、とてもさびしかった」ということばが、藤吉さん家族の気持ちを表しているようです。



▶ みんなで輪になって踊った「炭鉱節」



アジア太平洋こども会議とは

アジア太平洋地域のこども達を招き、ホームステイを通して日本のこどもたちとのコミュニケーションをはかって、国際感覚を育てていくのが目的。

1989年に、(財)福岡青年会議所を中心に始められ、今年で4回目を数える。

今年は、44の国と地域から、440人のこどもたちと88人のシャペロン(随行員)を県内のホストファミリーに受け入れた。

ホームステイのほか、期間中に、文化交流会などの記念イベントを福岡市で開いた。

八月六日 古島小学校で国際親善交流会

ハンギリとランギリの交流

八月六日には、古島小学校（古賀賢太郎校長）で交流会が開かれました。

体育館での歓迎行事のあと、モルジブのこどもたちは、二人ずつ教室に別れて、同校の児童たちといっしょに、平和授業のビデオを鑑賞しました。

平和授業のあとは、教室で輪になって給食を食べました。こどもたちは、いっしょに食事をしながら「モルジブはどんな国ですか」「筑後市はどうですか」などと通訳の人を通して聞き合っていました。

この日のメニューは、カレーライス、鳥のからあげ、フルーツのヨーグルト和え、牛乳でした。

給食のあとは、学年ごとに別れて、竹馬、コマ回し、一輪車乗り、わらべうたなどの交流遊びがありました。モルジブのこどもたちは、古島小の児童たちの中に溶け込んで、仲良く遊んでいました。

このあとプールでは「はんぎり」とは、たらいのようなもので、昔、この地区では「はんぎり」に乗って堀のひしの実を取っていた



▶はんぎり競争



▶民族舞踊「ランギリ」（サンコア）



◀交流給食

ものです。

モルジブのこどもたちを「はんぎり」に乗せて、古島小学校の児童たちがあと押しをしました。

一年中海で泳いでいるモルジブのこどもたちですが、プールを見るのは初めてということで、最初はおっかなびっくりでしたが、すぐに慣れて、歓声をあげて遊んでいました。モルジブでも、昔、「はんぎり」のような物に荷物を乗せて、川を行き来していたということです。

最後には、体育館でお別れ行事が行われ、モルジブのこどもたちは民族舞踊「ランギリ」を、井田下こども会からは「獅子舞」を披露しました。

モルジブのこどもたちは、学校の玄関から校門まで、古島小のみ

「ハンバーグを食べたい」の一言がうれしかった

ホストファミリー 古賀重満さんご家族（上北島）

古賀さん宅にホームステイしたのは、モハメド・ロクシャン・ハッサン君（男）愛称ロクシャン）でした。

ロクシャン君は、まじめでおとなしい性格で、自分の要求もなかなか口にしませんでした。古賀さんの家のぶどう狩りも、黙々と手伝ったそうです。ただ、野菜を食べないなど少し食が細く、家庭では食事に気を使われたようです。また、宗教上の理由で人に膚を



て自分から「ハンバーグを食べたい」と言ってくれたのが、とてもうれしかったです。

こちらから親身になって話しかければ、必ず答えてくれました。気を使うことも多かったけど、最後にはとてもロクシャンがかわいくなって、別れるのがつらかったです。こどもたちにとっても、すばらしい経験になったと思います」と話してくれました。

なりました。

この夜、モルジブのこどもたちは、サンコアで行われた「平和を考える市民のつどい」でも、「ランギリ」を披露しました。

いつかモルジブに行きたいな

古島小六年
江崎由香さん

外国の人と身近に接したのは、これが初めてでしたので、少し緊張しました。

いちばん印象に残っているのは「はんぎり競争」です。モルジブの子をはんぎりに乗せて、あと押しをしてあげました。モルジブの



別れのあいさつをする江崎さん

子も楽しそうでした。

給食もいっしょに食べました。

その時「どんな勉強が好きですか」

「食べ物何が好きですか」など通訳の人を通して聞きました。

年齢が近かったせいか、モルジブの子も日本の子も、考えていることは同じだと思いました。

モルジブのことも少しわかったし、何よりも、外国の人といっしょに遊んで、友だちになれたことがいちばんうれしかったです。

いつかモルジブに行つてみたい

なと思います。

なと思います。

「同じ釜の飯を食べるのはいいことです」

通訳 篠原清見さん（長浜）

東京で暮らしていた時に、ホテルのフロントで仕事をしていて、



古島小で通訳する篠原さん

外国人と接する機会が多かったの

で、英語をおぼえました。

今回通訳に応募したのは、自分の能力を生かすよい機会だと思っ

たからです。七十四歳の今でも海外旅行をしますが、日本人どうし

で英語を話すよりも、外国人と話す方が勉強になるんですよ。

モルジブのこともたちは、みんな彫りが深く、笑顔がかわいかったです。すなおで、何にでも興味

を示す前向きな姿勢が感じられま

福岡市で文化交流会

八月七日、モルジブのこどもたちとホストファミリーのこどもたち

ちは、清水山、八女の伝統工芸館

ロッテ九州工場を見学しました。

山のなないモルジブのこどもたちは、清水山からのすばらしいなが

めに見とれていました。

八月九日には、福岡市で記念イベントが開かれました。

モルジブのこどもたちとホストファミリーのこどもたちは、市内をパレードしたあと、天神中央公園などで開かれた文化交流会に参加し、各国のこども大使たちと交流しました。

（次頁へ続く）

した。モルジブのこどもたちに、いろいろ聞きたいことがあつたけど、時間がなくてできなかったのが残念でした。

古島小学校では、地元のこどもたちとの交流会がありました。いっしょに給食を食べたあとで、こどもたちはいっそう仲良くなつたような気がしました。

「同じ釜の飯を食べる」ではありませんが、いっしょに食事をするのはいいことだなと思いました。

私の孫も大きくなつてしまいましたので、今回の経験は楽しい思い出になりました。つぎの機会にも、ぜひ参加したいと思います。

いっしょに料理を作つて食べました

ホストファミリー 鶴 貞記さんご家族（船小屋）

鶴さん宅には、少し喜怒哀楽の激しいフィリマス・フィラーシャさん（女）愛称フィラ）がホームステイしました。

フィラさんは、軽いホームシックになり、モルジブの家に何度か電話をかけていました。モルジブから電話がかかって来たこともありました。

家庭でいちばん気を使われたのは、食事についてでした。フィラさんは、なかなか料理を食べてくれなかつたのです。そこで鶴さん宅では、フィラさんの好きな料理を、いっしょに作ることにしまし



た。するとフィラさんは、カレーピラフやサンドイッチを作つて、喜んで食べたそうです。

長女のまどかさん（十歳）は、「いっしょにプールで泳いだり、絵本の『ウォーリーをさがせ』を読んだり、習字を書いたりしました。あまりお話しはできなかったけど、楽しかったです」と話してくれました。やはり、こどもたちは、ことばは通じなくても仲良くなれたようです。

妻の恵子さんは「外国の、ことばも習慣も全くちがう人といっしょに生活できたことは、こどもたちにとってすばらしい経験になったと思います。

くわしい会話ができないので、気持ちやうまく伝えられず、とてももどかしかったです。これは相手も同じだったろうと思います。相手はこどもですから、ある程度はこちらが相手に合わせることも大切ですね。十日間外国のこどもといっしょに生活して、いろんなことで勉強になりました」と話してくれました。



ことばや習慣、肌の色のちがいを超えて……

芽生えた「仲間意識」

八月十三日、いよいよモルジブのこどもたちが帰る日がやって来ました。

こどもたちは、市役所でお礼のあいさつをしたあと、ホストファミリーの人たちといっしょに、バスで福岡空港へ向かいました。空港の出発ロビーでは、あちらこちらに、記念撮影をするなど別れを惜しむ人の輪ができました。

モルジブのこどもたちは、おみやげと思い出をたくさんトランクにつめて帰って行きました。

こどもたちを乗せた飛行機が飛び立ったとき、朝から降っていた雨もあがって、雲の切れ間から青空が顔を見せていました。

国際交流とひとくちで言いますが、外国の人といっしょに生活するのは大変なことです。



みんなそろって はいポーズ!! (清水山で)

外国の人とは、ことばも、生活習慣も、文化もちがいますから、いっしょに暮らせば摩擦も生まれます。それは、気持ちがあうまく伝わらなくてイライラしたり、食事を食べなかったり、フロに入らなかったりなど、いろいろな形で表れて来ます。

そんなとき、摩擦を乗り越えるためにはどうしたらいいでしょう。大人は、外国の人を前にすると、どうしても身構えてしまいます。

「変な英語を話して、相手に笑われないうるか」などと考えてしまうからです。こどもはどうでしょう。まったくことばの通じないこどもでも、ゲームをしたりして遊んでいるうちにいつの間にか仲良くなつて、ワイワイガヤガヤやっています。そしてそのなかで、少しずつことばをおぼえていくようです。

ことばでコミュニケーションしようとする前に、「仲良くなりたい」という「心」で、身構えずにコミュニケーションすることが大切なようです。その「心」は、ことばの壁を超えて伝わるのではないのでしょうか。

モルジブのこどもたちは、「ことばや肌の色はちがっても、人間はみな同じなんだ」という仲間意識を、筑後市に残して行ってくれたようです。

いつの日か再会するのが楽しみです

ホストファミリー 齊藤稚一郎さんご家族(和泉東)



齊藤さん宅に外国の人がホームステイするのは、今回で五回目です。ただし、十日間という長期間預かるのは、今回が初めてでした。齊藤さん宅にホームステイしたニューシャさん(女)は、聞きわけがよくしっかりした子で、齊藤さん宅の二人の中学生の女の子のちよいどいい話し相手になりました。食が細くなることもなく、カレーピラフやサイコロステーキを喜んで食べていました。また、「医者になりたい」というしっかりした希望を持っていました。

三女の明子さんは「最初はあまり話さなかったけど、ファミコンやボウリングなどで遊んでいるうちに

ちに仲良くなりました。ことばはあまり通じなくても「仲良くなりた」という気持ちは、何となくしぐさでわかりました」と話してくれました。

妻のせい子さんは、つぎのように話してくれました。「ホームステイを受け入れたのには、二つの理由があります。一つは、相手にじかに接することで外国の文化がわかるからです。もう一つは、日本人は、欧米にホームステイに行くのが流行のようになっていますが、反対になかなか外国の人を預からないという声を聞きますので、何かできることを協力したいと思ったからです。くわしい会話はできなくても、日常生活にはそれほど支障はありません。

うちではしっかりしていたニューシャでしたが、福岡市での文化交流会のときに、モルジブの家に電話をかけて涙ぐんでいました。やはりさびしかったのでしょうか。

いつかニューシャと再会する機会があると思います。そのときに彼女が医者になる夢を実現しているか、こどもたちの成長が楽しみです」

いい事も悪い事も、心で伝わります

通訳 堤 昭 子さん（尾 島）

通訳募集を広報で読んだとき、どうしようかと迷いましたが、たまにはふだんとちがう事をやってみるのもいいと思って応募しました。

ことばの通じない子どもたちが仲良くワイワイやっているのを見て、何かことばを超えた仲間意識のようなものを感じました。

英語は独学でおぼえました。NHKラジオの英会話と、佐世保に住んでいたのでアメリカ軍用のラジオ放送を聞いていたんです。モルジブの子どもたちは、美男美女を選んできたのかと思うほどみんなかわいくて、性格的にも、明るいうちが多かったです。

日本人は、欧米にばかり目が向いて、なかなか近隣のアジアに目を向けません。私も今まで、モルジブのことはほとんど知りませんでした。今回のような市民レベルでの交流がないと、アジアとの国際交流はなかなか進まないのではないのでしょうか。

また、十一歳の子どもたちが全員流ちょうな英語を話すのを聞いて、日本の英語教育も、文法よりも「聞くこと」に力を入れるべきだと思いました。

うまく通訳することができたのが、今でも不安ですが、モルジブの子どもたちと過ごした時間は、私にとってほんとうに楽しい時間でした。



▲ウェルカムパーティーで通訳する堤さん

ご協力に感謝します

今回のホームステイに際して、たくさんの方たちからのご協力をいただきました。（順不同）

〔ホストファミリーのみなさん〕
鶴岡貞さん（船小屋）、中村正暢さん（下妻）、永延文治さん（熊野）
古賀重満さん（上北島）、三宅明信さん（北長田）、山口朋秀さん（久恵）、藤吉正憲さん（羽犬塚）、重富和正さん（高江）、齊藤雅一郎さん（和泉東）、古賀久仁子さん（前津）、角則子さん（藤島）、鏡ヶ江和子さん（大川市）の各ご家族

〔通訳のみなさん〕樋口昌宏さん（若菜）、田中美子さん（井田上）、堤昭子さん（尾島）、山口己知郎さん（二本松）、城後裕江さん（上原）、江崎久美子さん（長崎）、弥永己則さん（尾島）、篠原清見さん（長浜）、坂田訓子さん（長浜）、七字佑子さん（八女市）八女高校のみなさん。

このほか、古島小学校の児童・職員・PTAのみなさん、ロッテ九州工場、八女伝統工芸館、日本民謡協会筑後支部のみなさんなど、たくさんの方たちのご協力で、子ども会談を成功させることができました。この紙面を借りまして、厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

こども大使とシャペロンからお礼のことば

日本の伝統を大切に ナシーマ ユースフさん（シャペロン）

私は、モルジブの「カラファンスクール」という学校で教師をしています。この学校は三年前の七月に、日本からの援助で開校しました。

ような気持ちでした。

お米やお茶を食べたり飲んだりするのはモルジブもいっしょです。で、食事もおいしく食べられました。あと、古島小学校での「はんぎり競争」も、楽しい思い出になりました。

日本には、たくさんの方の外国の人がやってくると思います。若い人たちの中には、外国に憧れる人もいます。心を持続してほしいと思います。外国のマナーはしてほしくありません。



もう一度、今度は夫といっしょに日本にきたいと思っています。筑後市のみなさん、本当にありがとうございました。

自分の家にいるみたいでした

モハメド・ニザール・イブラヒム君

ホストファミリーの三宅さんを



はじめ、筑後市の人たちはみんな親切でした。何だか自分の家にいるような気がしました。

自転車に乗って遊んだり、セミとりをしたことなど、楽しい思い出になりました。いつかもう一度日本にきたいと思っています。みなさんもモルジブに遊びに来てください。どうもありがとうございました。

待ってます!! あなたのやる気と元気

平成4年度 筑後市職員採用試験

市では、平成4年度の市職員採用試験を行います。

今回募集するのは、一般事務職、労務職、土木技術職、文化財専門職の4職種です。

「ふるさと筑後」のキャンバスに、あなたの若さと行動力で、すてきな絵を描いてみませんか。

〔第1次試験日〕平成4年10月25日（日）午前10時から

〔第1次試験会場〕羽犬塚中学校（筑後市大字羽犬塚80番地）

〔職種・採用予定者数〕◇一般事務職・若干人 ◇労務職（清掃作業員、用務員、給食調理員などの業務に従事）・若干人 ◇土木技術職（施設や設備の設計、施工監督、維持管理などの業務に従事）・若干人 ◇文化財専門職（文化財の発掘、調査業務および一般事務に従事）・1人

〔受験資格〕いずれの職種とも、昭和40年4月2日から昭和50年4月1日までに生まれた人。なお、◇一般事務職と労務職は高校卒業程度の学力を持つ人 ◇土木技術職は工業高校（土木課程）卒業程度の学力を持つ人 ◇文化財専門職は大学卒業程度の学歴と考古学に関する専門的知識を持つ人。

〔第1次試験科目〕◇一般事務職と労務職は一般教養試験 ◇土木技術職と文化財専門職は一般教養試験と専門試験。

〔申込み期間〕9月7日（月）から9月21日（月）まで。時間は毎日午前8時30分から午後5時まで（土・日・祭日は除く）郵送の場合は、9月21日の消印があるものまで受け付けます。申込み用紙は市役所人事課にあります。

〔第2次試験〕11月下旬の予定で、第1次試験の合格者に通知します。

〔問合せ〕人事課（☎534111 内線141）

大丈夫ですかあなたの年金

人生八十年代を迎え、老後はもはや余生ではなく、第二の人生そのものといえましょう。

老後の生活を豊かに過ごすためには、若いときからしっかりと生活設計をする必要があります。

老後の生活設計に欠くことのできない公的年金について考えてみましょう。

国民年金



自営業者などは 第一号被保険者

日本国内に住んでいる農業・自営業の人はもとより、自由業などの給与所得者でない人、さらにサラリーマンでも厚生年金などに加入していない人、さらに学生など

無職の人も、二十歳から六十歳未満の人は国民年金に加入しなければなりません。以上の加入者を第一号被保険者といいます。この第一号被保険者に該当したときや該当しなくなったときは、市民課国民年金係で手続きをしてください。なお、保険料は自分で納めます。

※学生も平成三年四月から加入二十歳以上の学生は、希望によって加入する、任意加入となりました。

しかし、学生の時に障害者となっても、年金に加入していなかったため、障害基礎年金が受給できないことや、基礎年金の満額が受給できないことなどから、平成三年四月から必ず加入することになりました。

厚生年金などに加入している人は第2号被保険者

会社や役所、学校あるいは法人に勤めているサラリーマンは、厚

生年金や共済組合に加入しますが、自動的に国民年金にも加入することになります。

なお、これらの人は、被用者年金の加入の手続きをすれば、国民年金の手続きも行われたことになります。自分で年金係への加入届や保険料の納付は必要ありません。

サラリーマンの奥さんは第3号被保険者

サラリーマンの奥さんで、厚生年金（共済）制度に加入している人（第2号被保険者）に扶養されている二十歳以上六十歳未満の人は、第3号被保険者となります。

健康保険証や共済組合証の被扶養者欄に、あなたの名前が記入されているか。記入されていれば、「第3号被保険者該当届」が必要ですが届け出は済みでしたか。

届け出れば、自分で保険料を納める必要はありません。

届け出が二年以上遅れると、二年以前の分は保険料未納となります。届け出が済んでいなければ国民年金係で手続きをしてください。

また、保険料納付についての相談や国民年金についての相談を常時、市民課国民年金係（☎534111）で行っています。

あなたの老後の生活設計やご家族みんなの生活を守るため、保険料は毎月きちんと納めましょう。

農業者年金



農家にとって 有利な年金です

農業を営んでいる人、農業者年金に加入していますか。

農業者年金は「農民にもサラリーマン並みの年金を」という農業者の強い要望で、老後生活の安定と農業経営の若返りや規模拡大などを図るために作られた年金です。この年金には、つぎのような利点があります。

- ①国の法律に基づく年金制度であり、将来にわたって安心して頼れる制度
- ②他の制度にみられない高率の国庫補助があり、非常に有利
- ③物価スライド（毎年）及び所得スライド（5年毎）により年金額が引き上げられるので、受取る年金額は目減りしない
- ④農業経営の若返りや規模拡大などに役立つ
- ⑤農業経営を移譲した後の生活設計に安心とゆとりを与えるなどです。

加入対象となる人の 基本資格

農業者年金の被保険者には、必

ず加入しなければならない「当然加入被保険者」と本人の希望により加入できる「任意加入被保険者」とがあります。

いずれも、①国民年金の第1号被保険者（又は任意加入被保険者）で、②六十歳に達する前月までの被保険者期間などが二十年以上となる人となっています。（カラ期間などがあります）

①必ず加入しなければならない人（当然加入被保険者）

自分名義の農地などの面積が五十アール以上の農業経営主

②希望すれば加入できる人（任意加入被保険者）

①自分名義の農地等の面積が三十アール以上五十アール未満で、年間の農業労働時間が七百時間以上の経営主②農業生産法人の常時従事者である構成員で、その法人名義の農地の面積をその構成員で割った1人当たりの面積と自分名義の農地等の面積が五十アール以上の③当然加入者や①・②の後継者として指定された人で、農業に従事していた期間が通算三年以上ある人（一人に限る）などです。

その他、二十年の期間不足の人には、特別任意加入や高齢任意加入などがあります。問い合わせは、農業委員会（☎534111）へ



筑後市チームが大活躍

二年連続準優勝

全国伝統地名市町村連絡会議 少年サッカー大会

八月八日と九日に、兵庫県播磨町で全国伝統地名（旧国名）市町村連絡会議の少年サッカー大会が開かれ、筑後市代表チームは、全国各地の強敵を相手に、二年連続の準優勝という成績を収めました。

この大会には、連絡会議に加盟している三十六市町の中から十三チームが参加しました。

筑後市では、筑後少年サッカークラブ、西牟田サッカースポーツ少年団、松原サントス少年サッカークラブの三チームで筑後市の代表チームを作って参加しました。

筑後市は、一回戦で山城町（京都府）に九―〇、二回戦で播磨町Cに十一―〇と大勝して、準決勝へ進出しました。

準決勝では、播磨町Aを一一―〇の接戦で下し、昨年に引き続き決勝戦へ駒を進めました。

決勝戦では、伊勢市（三重県）に前半二点を先行され、後半必死に追い上げましたが、一歩及ばず一一―二で惜敗しました。

ホームステイで交流

二年連続の準優勝で、筑後市は強豪としてすっかり有名になりました。キャプテンの近藤陽太郎君（羽犬塚小六年）は、「試合はきつかったけど準優勝できてうれしかったです。混成チームだけどチームワークはバッチリでした。来年



▲それシュート!!

は後輩たちに優勝してもらいたいです」と話していました。

選手たちは、地元の家庭に二人から四人ずつ一組でホームステイして交流を深めて来ました。また、ホームステイ先におみやげとして持参した綿入れはんでんやかすりの手下げ袋などが好評で、特産品の宣伝もできました。

監督の近藤恭一郎さん（徳久）は、「このサッカー大会が、子どもたちの夏休みのいちばんの楽しみでした。成績も良かったし、地元との交流もできました。いずれは筑後市でも大会を開けたらいいなと思います」と話してくれました。

※全国伝統地名連絡協議会とは
全国には、筑後市のように、旧国名をそのまま名称に使っている市町村があります。

昭和六十一年、これらのうち三十六市町が「全国伝統地名（旧国名）市町村連絡会議」を結成しました。毎年、市町どうしの交流やサッカー大会・物産展などの共同事業を行っています。

九月から完全週休二日制を実施

市役所は毎週土曜が休みです

完全週休二日制の実施にともない、市役所は9月から毎週土曜日が休みになります。

お休みするのは

市役所と教育委員会（総務課、学校教育課、社会教育課、同和教育課）の事務局です。

今までどおりは

消防本部、老人ホーム紅葉園、市立保育園です。

市立病院、燃えるゴミの収集、衛生センター（し尿処理）、八女西部清掃工場（燃えるゴミの処理）、筑後中部清掃工場（燃えないゴミ

の処理）も、当分の間今までどおり行います。変更になり次第、広報でお知らせします。

サンコアは、事務室（社会教育課、中央公民館）は休みですが、ホールや会議室は今までどおり利用できます。

サンコア図書室は、今までどおり、毎週月曜日と第三日曜日、祝祭日など以外は利用できます。

市民会館も今までどおり利用できます。

小中学校は、第二土曜日が休みになります。

みなさんのご理解とご協力をお願いします

は上原々でした。

野間口天凱市議が死去

八月七日、野間口天凱市議が、心不全のため、久留米大病院で死去されました。六十七歳、自宅



大正十四年三月三十日生まれ、昭和三十八年五月から昭和五十二年四月までと、昭和五十四年四月から昭和五十八年四月まで、さらに平成三年四月から死去まで市議会議員をつとめられました。

このうち昭和五十年五月から昭和五十二年四月まで、市議会議長をつとめられました。

野間口市議の死去にともない、市議會議員定数に一人欠員が生じ、総数二十一人になりました。

市役所正面玄関の北側です。



さわやかトイレが
できました

身障者や高齢者にも優しい構造に

七月三十一日、市役所正面玄関北側に、「さわやかトイレ」が完成しました。

このトイレは木造で、外側にベンチを備えています。七・二平方メートルのゆったりとした室内に、手すり付きの洋式便器が一式で、段差がなく、身障者や高齢者にも利用しやすいとなっています。また、室内にはベビーベッド兼荷物置きもあり、非常ベル付きです。このトイレは、二十四時間使用できます。



八月二日、総合福祉センターの南側広場で、わかたけ共同作業所の夏まつりがありました。

同作業所では、障害者たちが通って来て、仲間づくりと職業訓練を目的に工場からの下請け作業などをしています。

この夏まつりは、同作業所が今年で開所十周年を迎えたのをきっかけに、地元の人たちと気軽な交流の場を作ろうと、今年から始められました。

この日は、エアロビクスショーやアニメの主人公が登場するキャラクターショー、ラムネ早飲み競争や自衛隊音楽隊の演奏など、もりだくさんの内容でした。

また、筑後養護学校やボランティア連絡協議会、老人クラブや生協などの模擬店も出店し、まつりは一日中大にぎわいでした。



八月五日、サンコアで、九州産業大学吹奏楽団の演奏会が開かれました。

この日は、第一部が交響曲のステージ、第二部がおなじみの曲で構成されたポップスステージ、そして第三部が、演奏しながら隊形をつぎつぎに変わるドリルステージというプログラムでした。

会場につめかけた子どもたちは、実物のバンドが繰り広げる「ルパン三世のテーマ」や「ガラガラヘビがやってくる」などの楽しい演奏に、大きな拍手を送っていました。

わかたけ共同作業所で夏まつり

こんなこと

夏休みのこどもたちにプレゼント

九州産大吹奏楽団がコンサート

あんなこと



住民実態調査のお知らせ

市では、九月一日現在で住民実態調査を実施します。この調査は、住民基本台帳法に基づいて、市が毎年実施しているものです。

この調査は、市内に住んでいるすべての人を世帯単位に調査し、住民票と居住の実態を合わせ、選挙人名簿、国民健康保険、国民年金などの行政事務の、正確な基礎資料を整備するために実施するものです。

調査票は、九月十五日号の広報といっしょに配布しますので、九月二十四日までに行政区長さんへ提出していただきますようお願いいたします。問い合わせは市民課市民係（☎4111）へ。

みんなでおいでよ!!

ちっご祭り

9月12日(土)

船小屋中の島公園

※雨のときは13日に順延





見つかっています “がん”

症状がなくても、健康に自信があっても、定期検診を!!

市では10月に基本検診(一般検診)、胃がん・子宮がん・乳がん・大腸がん・肺がん検診、結核検診を行います。

毎日不安なく生活するために、検診で、年に1回健康を確かめましょう。

くわしくは別に配布していますチラシをご覧ください。

基本検診(一般検診)は もよりの医療機関で

高血圧、心臓病、糖尿病、肝臓病などの成人病を早期発見するための検診です。

40歳から69歳の人には、受診票を配布しますので、もよりの医療機関で、10月中に受診してください。

がん集団検診

70歳以上の人には受診票を配布しませんので、直接医療機関に申し出てください。

希望の日、希望の時刻に、わずかな時間で、すべてのがん検診が受けられます。

検診時間は、7時30分から。日曜検診日ももうけて、忙しい人で

減量教室

受講生募集

— 決意するのは今…… —

肥満は中年を過ぎると、高血圧、心臓病、糖尿病、肝臓病を引き起こす原因になるほか、足に負担がかかりすぎ、関節痛で悩むことになります。

また、女性では美容上も気になることです。

この教室は、食事と運動で無理なく健康的にやせることを目標にしています。

減量で心身ともにリフレッシュ。太りすぎで気になる人は、ぜひ思い切って申し込んでください。

【日程】

10月6日(火)、10月13日(火)と、11月から3月までの、毎月第1火曜日の計7回。

【時間】

9:30~12:00

【内容】

検査、講話、食事療法、運動療法、調理実習と試食会など

【会場】保健センター

申込みは保健管理課(☎534111)へ

施設検診

も受診しやすくなっています。都合のよい日を選んで電話で申し込んでください。(☎534111内線311・312)

子宮がん、乳がん、大腸がんの検診は、近くの医療機関でも受けられます。直接申し出てください。

結核検診

結核検診は、もよりの各会場で直接受診してください。

秋は市内南部を重点にまわりますので、春に受診できなかった北部の人は、保健センターで受診してください。

問い合わせは、保健管理課へ。

ますます元気



百歳以上のおとしより 市内に五人

九月十五日は敬老の日、そして九月十五日から二十一日までは老人福祉週間です。

市内の最高齢者は、百二歳の塚本又吉さん(中牟田)で、百歳以上の人(来年三月までに百歳になる人を含む)が市内に五人います。市では、七十七歳以上の人に、

紹介します

百歳以上の人
百歳になる人

塚本又吉さん(中牟田)

明治23年8月19日生(102歳)

吉田タツノさん(古島)

明治23年10月14日生(101歳)

石橋伊勢吉さん(島田)

明治24年2月10日生(101歳)

服部セイさん(赤坂)

明治25年5月20日生(100歳)

櫻井モヨさん(久富)

明治25年12月24日生(99歳)

今月の衛生行事

こよみ



ちっごスポーツ
フエスティバル'92へ

県政レディース・アイ

「テーマ」暮らしを支える先端技

シルバーゴルフ大会

歩こう会参加者募集

〔申込み〕 当日受付けます。

講
習
会

手話講習会（初級）

〔申込み〕市社会福祉協議会（☎
⑤23969）へ

天文ボランティア養成講座受講生募集

県青少年科学館では、科学館の天文関係の事業に、天文ボランティアとして参加していただくため、つぎのとおり養成講座を行います。

③7
5
5
6
6
)
^

現場を離れている

看護婦さん

再就職の講習会です

県看護協会などでは、現在、看護の現場を離れている看護婦さんなどを対象に、再就職に備えた講習会を開きます。

午前9時30分～午後4時

〔ところ〕聖マリア病院（久留米市津福本町422）

〔申込み・問合せ〕 9月24日(木)までに、久留米保健所(☎35) 835

1) 14-5203) へ 1) 14-5203) へ

講演

学校週5日制 シンポジウム

南筑後地区学校週5日制シンポジウム実行委員会では、県教育委員会との共催でつぎのとおりシンポジウムを行います。

〔とき〕9月6日(日)午前10時～午後3時

〔ところ〕瀬高町中央公民館

〔内容〕▽千葉大学教授・坂本昇一さん「学校週5日制への対応Ⅱ」
▽コーディネーター九州大学助教 授森紘さん。パネラー南筑後地区のPTA関係者の皆さん。

くわしくは、南筑後教育事務所(☎537524)へ

日中国交正常化 20周年記念講演会

〔とき〕10月4日(日)午後1時30分～午後3時30分

〔ところ〕北九州国際会議場メインホール(北九州市小倉北区浅野)

〔講演〕元駐中国大使中江要介さん「蕩々たる一衣帯水」―日中国交正常化20周年を迎えて―

〔申込み〕官製ハガキに①「日中国交正常化20周年記念講演参加希望」②住所③氏名④電話番号を書

いて申込む。電話、FAXでも受け付けます。

〔参加費〕無料

〔問合せ〕福岡県企画振興部国際交流課企画交流係(〒812福岡市博多区東公園7-7 ☎092-651-1111 内線2473、FAX 092-632-2333)

相談

無料調停相談会

八女調停協会では、無料調停相談会をつぎのとおり行います。

〔とき〕9月17日(木)午前10時～午後3時

〔ところ〕サンコア

〔相談〕○夫婦・親子・遺産などのめんどろ ○交通事故・公害・戸籍に関する問題など ○金銭・土地・家屋についての問題など
相談には、調停委員が応じ、秘密は固く守られます。

くわしくは、八女調停協会(☎0943-24036)へ

巡回法律相談(無料)

(財)法律扶助協会福岡県支部では、巡回無料法律相談をつぎのとおり行います。

困っていることや心配している事など気軽に相談ください。
〔とき〕9月25日(金)午前10時半～

午後3時。なお、11月27日(金)も予定しています。

〔ところ〕サンコア

〔相談員〕弁護士2人

その他

9月は障害者雇用促進月間
もう一人、あなたの
職場に障害者を

ハローワーク(公共職業安定所)では、毎年9月を「障害者雇用促進月間」と定めています。

これは、障害者の雇用問題に関する市民の皆さんや事業主の皆さんの理解を、より一層深めてもらう目的でつくられたものです。

今年、昭和58年に始まった「国連・障害者の10年」の最終年となっています。

もう一度職場を点検して、一人でも多くの障害者に雇用の場を広げていただくようお願いします。

通貨・証券返還の 請求は早目に

終戦の際、海外から引き揚げられた人で、税関(当時、海運局)に通貨・証券などを預けられ、まだ返還請求の手続きが済んでない人は、早目に返還請求の手続きをしてください。

返還請求は、引揚者本人のほか、

10月1日は
商業統計調査(一般飲食店)
就業構造基本調査
が行われます。
ご協力をお願いします。



家族の人でもできます。

くわしくは、三池税関支署(☎0944-2526)へ

バイクにも必ず 自賠責保険(共済)を

福岡陸運支局では、9月1日、30日まで「無保険(無共済)バイクをなくそうキャンペーン」を行っています。

小さなバイクだからといって油断は禁物、バイクの起こす人身事故も軽視はできません。また、バイクにも自賠責保険(共済)への加入が法律で義務づけられています。もし、自賠責保険が契約切れになつていたら、損害保険会社、同代理店(バイク・自転車店など)などで手続きをしましょう。

くわしくは、九州運輸局福岡陸運支局旅客課(☎092-673-1191)へ

水利地益税

第1期

国民健康保険税

第3期



◆心配ごと相談	毎週木曜日	9時～15時	総合福祉センター
◆人権相談	16日(水)	10時～15時	サンコア
◆消費生活相談	16日(水)	13時～15時	サンコア
◆行政相談	17日(木)	9時～15時	総合福祉センター
◆社会保険相談	25日(金)	10時～15時	商工会議所
◆消費相談	毎週火・水・木曜日		商工観光課
◆「心の病」相談	17日(木)	13時～15時	総合福祉センター
◆家庭児童相談	毎週月・水・木曜日		市福祉事務所



図書室新刊案内

【児童向き】 ○バーバ「ネズミあなのネコの物語」 ○マクフェイル「まよなかのできごと」
○ブルーナ「ふたのうたこさん」
○佐々木マキ「くまの木」
○西内ミナミ「にっぽんいっしゅうけんけんうた」 ○藤本ともひこ「こうへいみませんでしたか」
○ブルーム「さよならをいう時間もない」 ○ピーヘル「たのしいゾウの大パーティー」
○宮川ひろ「ありがとうをいっぱい」

【一般向き】 ○池田耕治「楽しい印づくり」 ○天本孝志「筑前古寺巡歴」 ○品川不二郎「父は子に何を教えるか」
○宮嶋康彦「日本カバ物語」
○小若順一「暮らしの安全白書」
○時実新子「川柳新子座'91」
○宮崎駿「トトロの住む家」
○海老沢泰久「美味礼讃」
○丸山健二「千日の瑠璃上・下」
○デミル「ゴールド・コースト上・下」 ○吉本隆明「良寛」

【閉館日】 7日・14日・15日・20日・21日・23日・28日

7月の人の動き

人口 44,243人(+63)
男 21,098人(+23)
女 23,145人(+40)
世帯数 12,447戸(+17)

7月の交通事故

発生件数 27件 (154人)
負傷者数 29人 (188人)
死亡者数 0人 (2人)

※()内は1月～7月までの累計です。

シリーズ・いま同和教育は⑩

風習・慣習と部落差別

私たちは伝統的な風習や慣習としての世間一般の考え方に同調して、これを受け入れやすい傾向をもつといわれています。このことを「菊と刀」の著者、ルース・ベネディクトは、日本人の考え方は物事を自分の良心に照らすのではなく、世間に対して恥かしいかどうかの「恥の文化」がもとになっていると言っています。

「日本国憲法」第二四条に「婚姻は両性の合意のみに基づいて成立し」と規定され、すべての国民が個人として尊重されているにもかかわらず、結婚式場で「○○家、○○家結婚披露宴」といった掲示がされている慣習や、家を建築するときに「鬼門」などといって方角を気にする風習などについて、一九八九年（平成元年）実施の県民意識調査では、四五％～五〇％の人が当然だとしています。

またおかしいと思うが、自分だけ反対しただけでいいという回答も、それぞれ三〇％近くあります。

また、「大安と結婚式」では、当然のこと、自分だけ反対しても仕方ない、を合わせて五〇％近くにもなっています。このように無批判に慣習を受入れたり、世間への同調的傾向を示す考えこそが、部落差別を温存することになっていると言えます。

同和对策審議会答申ではそのことを、「精神・文化の分野でも昔ながらの迷信、非合理的な偏見、前時代的な意識などが根づよく生き残っており、特異の精神風土と民族的性格を形成している。」

スポーツ行事

●筑後地区少年野球選抜大会成績

(7月26日・水田コミセンほか)

優勝＝津福ジュニアスラッグーズ
(久留米市) 準優勝＝鳥飼ジャガーズ
(久留米市) 三位＝羽犬塚サンボーイズ
(筑後市)・大川ブルーライオンズ(大川市)

●第25回筑後市ジュニアバレーボール大会成績
(7月19日(日)・松原小学校体育館など)

〔高学年の部〕①筑後北小バレーボールクラブ

②二小バレーボールクラブ ③古島ジュニア・筑後小ジュニア (低学年の部) ①松原

ファイターズ ②筑後北小バレーボールクラブ

③古島ジュニア

●第3回九州硬式少年野球北部支部、支部長杯成績(8月9日(日)・ロッテ球場)

優勝＝筑後ドジャース(筑後市) 準優勝＝大野城ガッツ(大野城市)

●古川校区男女バレーボール会員募集

〔練習日〕毎週水曜午後8時～10時

〔場所〕古川小学校体育館

〔対象者〕古川校区の男子30歳以上、女子は既婚者。初心者大歓迎です。

〔申込み〕直接会場へおいでください。電話連絡は、横枕(夜間☎3559)まで。



▶写真と本文は関係ありません。